

---

第 352 回松本歯科大学大学院セミナー

日 時: 2016 年 10 月 14 日(金) 17 時 30 分~19 時 00 分

場 所: 実習館 2 階 総合歯科医学研究所セミナールーム

演 者: 川端 重忠 氏(大阪大学大学院歯学研究科

口腔分子感染制御学講座口腔細菌学教室・教授)

タイトル: 化膿レンサ球菌とインフルエンザウイルスの重感染メカニズム

化膿レンサ球菌(group A streptococcus: GAS)は、咽頭炎などを引き起こす。劇症型 GAS 感染症は、毒素性ショック症候群などを発症し、致死率が約 50%と高く、抜本的な治療方法は確立されていない。我々はインフルエンザ A 型ウイルス(IAV)との重感染による劇症型 GAS 感染症発症の可能性を調べた。マウスに非致死量の IAV を感染させ、その 2 日後に非致死量の GAS を感染させると、90%以上のマウスが GAS による敗血症で死亡した。さらに、IAV の肺胞上皮細胞への感染が、同細胞への GAS の付着・侵入および肺での GAS の増殖を促進させ、重篤な肺炎を起こすことを明らかにした。今回は一連の研究の一端を紹介する。

担当:硬組織疾患制御再建学講座 宇田川 信之